

「100年時代を迎えた人生戦略」 第2回 杉野 宏子先生

人生100年時代を見据えて、これからのアンチエイジング医学・医療の在り方を考えることを目的に始まった「100年時代を迎えた人生戦略」であるが、第1回は京都府の人口10万人程度の地域である京丹後市でのコホート研究を紹介した。第2回は有名ブランドが軒を連ねる表参道で、働く女性の健康と美容に貢献する青山エルクリニック院長の杉野宏子先生を訪ねた。



働く女性とともに、 100歳まで若々しく生きたい

外からも、中からもきれいに 働く女性をサポートしたい

内藤 先生のクリニックは、いつ頃開院されたのですか？

杉野 今から20年くらい前で、私が院長になってからは16年程度です。20年くらい前は、ちょうど脱毛レーザーやケミカルピーリングのような治療が生まれて、皮膚の表面を傷つけない治療法が開発されたんですね。たとえば、レーザー脱毛は当時では画期的な方法で、施術の時間も短縮し、患者さんの負担も減らすことができました。

内藤 このクリニックは美容クリニックで、見た目

のアンチエイジングをケアするクリニックですよ。

杉野 はい。ちょうど私が院長になった頃から、脱毛だけでなく、シミやたるみに対応するようなレーザーなどの機器が登場し、大手術ではなく糸を皮下に入れてたるみを改善する、などの治療法が出てきた頃でした。それ以前は、私は形成外科医として、卒後は医局に所属していました。

内藤 20年前というと、日本抗加齢医学会も19年目になりますので、同じような時期ということでしょうか。患者さんの層はどんな方ですか？

杉野 開院当時から女性が多く、今でもその割合は変わりません。働いている女性に仕事帰りに寄っていただけるように、平日は夜7時までやっています。

内藤 女性が仕事帰りにも来られるわけですね。美